

平成 2 9 年度  
協働事業  
提案募集制度採択事業の概要



©岡山県「ももっち・うらっち」

平成 3 0 年 3 月  
岡山県備中県民局

# 目 次

1	協働事業提案募集制度の概要	・・・	1
2	平成29年度提案募集の経過	・・・	1
3	平成29年度協働事業提案募集採択事業一覧	・・・	3
4	平成29年度協働事業の概要		
	No.1： 地域の防災意識を高める気仙沼高校生との交流事業	・・・	4
	No.2： 地域でチームで長い目で」学童保育と作業療法士の連携で安心の子育てを	・・・	6
	No.3： 星空とヒトを繋ぐプロジェクト	・・・	12
	No.4： ウィキペディアタウン@備中路	・・・	16
	No.5： 備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～	・・・	20
	No.6： 「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	・・・	24
	No.7： 高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	・・・	30
	No.8： 大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	・・・	34
	No.9： 若者×大人×地域 備中まると【夢＝志事】化事業	・・・	36
	No.10： 備中の食を知る！備中の食材を使った料理教室と食育講座	・・・	40
	No.11： ジビエ料理でつなぐ農と食の架け橋～ジビエの需要拡大を目指して～	・・・	44
	(参考) 平成29年度協働事業提案募集チラシ	・・・	48
5	備中県民局協働事業審査委員会の概要	・・・	52
6	協働研修等の実施状況	・・・	54
7	平成22年度～平成28年度における協働事業提案募集採択事業の概要	・・・	57

## 1 協働事業提案募集制度の概要

この制度は、多様化、複雑化する地域の課題やニーズ等に対して、行政が単独で対応することが困難になってきている中、特定非営利活動法人又はボランティア活動団体・市民活動団体等、社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（以下「NPO等」という。）から、その専門性、柔軟性等を活かした事業の提案を募集し、NPO等と岡山県備中県民局（以下「県民局」という。）が協働することで、地域課題の効果的・効率的な解決を図ることを目的とし、実施するものである。

## 2 平成29年度提案募集の経過

### (1) 募集期間

平成28年11月1日（火）～平成28年12月9日（金）

### (2) 応募事業数

23事業

### (3) 第一次審査

備中県民局協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、応募のあった23事業について書類審査を実施した結果、第一次審査通過事業として13事業を選考した。

### (4) 担当部所との協議

提案団体と担当部所とで協議し、課題や事業の進め方等を共有した。

### (5) 第二次審査

平成29年4月17日（月）、備中県民局会議棟にて、第一次審査を通過した13事業について団体によるプレゼンテーションを実施し、審査委員会による審査の結果、11事業が採択された。

### (6) 採択事業事務説明会、協定書の締結、事業実施等

平成29年4月27日（木）、採択事業の団体担当者に対し、事務の流れ等を説明した。

その後、団体と県民局担当課との間で協議を行った上で協定を締結し、それぞれ事業に着手した。

### (7) 中間報告

平成29年11月～12月、実施事業の進捗状況について、審査委員会委員

に対し、地域づくり推進課担当者から個別に報告を行った。

(8) 事業結果報告

平成30年3月9日(金)、備中県民局会議棟において、採択された11事業を実施した団体が、事業結果についてプレゼンテーション形式で報告を行った。



©岡山県「ももっち・うらっち」

### 3 平成29年度協働事業提案募集採択事業一覧

事業名	団体名 (事務所所在地)	事業概要
地域の防災意識を高める気仙沼高校生との交流事業	やかげ小中高こども連合 (矢掛町)	若手防災リーダーの育成と地域の防災意識向上のため、①宮城県気仙沼市への高校生派遣、②派遣の学習成果について地域等での報告会開催、③報告書の作成配布を行う。
地域でチームで長い目で」学童保育と作業療法士の連携で安心の子育てを	岡山県学童保育連絡協議会 (岡山市)	発達障害児支援のため、学童保育と作業療法士の連携を図り、①作業療法士による学童保育の訪問指導、②人材育成(学童保育指導員のスキルアップ、発達領域に関わる作業療法士の育成)、③学童保育と作業療法士の連携の効果測定等を行う。
星空とヒトを繋ぐプロジェクト	ir.bisei (井原市)	美星の魅力を向上させて多くの人々の来訪を促すため、①星、月や風景の撮影スポットに設置する「装置」の作成・設置、②「装置」を活かした情報発信を行う。
ウィキペディアタウン@備中路	一般社団法人 データクレイドル (倉敷市)	備中地域の伝統的町並みや文化を世界に発信するため、①ワークショップ型イベントによるウィキペディアを使った情報発信、②ウィキペディア掲載情報を活用したアプリ開発・提供を行う。
備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～	一般社団法人 高梁川流域学校 (倉敷市)	備中地域の伝統文化等の継承と地域人材育成のため、①講座「備中志塾」の開催、②卒業生による公開講座の開催を行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	大学生の人材育成のため、企業展「龍の仕事展」を活用した人材育成プログラムを開発・実施する。
高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	一般社団法人 水辺のユニオン (倉敷市)	高梁川トレイルを風土ツーリズムとして商品化するため、①ルートの継続発展・モニターツアーの実施・旅行業者を交えての商品化検討、②講座実施によるトレイル推進体制強化、③冊子制作を行う。④地域自治体と協働したインフラ整備の協議を進める。
大学留学生との交流をとoshiteの地域の活性化事業	輝け！江良元気会 (矢掛町)	地域活性化を図るため、①文化・生活体験やホームステイによる留学生との交流、②留学生受け入れに当たっての住民の気運醸成や環境整備、③留学生を交えた意見交換を行う。
若者×大人×地域 備中まるごと【夢＝志事】化事業	備中志事人 (浅口市)	中高校生の人材育成を通じて、子どもが一主体として地域づくりに参画できる社会を目指すため、①中高校生の研修会・合宿、②他地域の中高校生との交流、③成果発表会を行う。
備中の食を知る！備中の食材を使った料理教室と食育講座	(株) 浅原青果 (倉敷市)	消費者が備中地域の農水畜産物・食材の豊かさを知ると共に、消費者と生産者の相互理解を図るため、①備中地域の生産物を使った料理教室、②圃場体験、③備中おんころりん写真展を行う。
ジビエ料理でつなぐ農と食の架け橋～ジビエの需要拡大を目指して～	一般社団法人 水辺のユニオン (倉敷市)	シシ肉のジビエとしての需要量を拡大し、ジビエ料理の定着を図るため、①高度な技術を有する猟師の育成、②料理コンテストやイベント開催等のプロモーション、③新たな商品開発を行う。

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.1

1 事業名 : 地域の防災意識を高める気仙沼高校生との交流事業

2 実施団体名 : やかげ小中高こども連合

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課

### 4 事業目的・概要

岡山県は、災害が少なく防災意識が低いと言われている。岡山県の高校生と東日本大震災の被災地である気仙沼の高校生等との交流を通して、若者の防災意識を高め、若手防災リーダーを育成するとともに、地域への防災意識の高揚を働きかける。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 気仙沼訪問

震災に関わる活動を行っている人や地元の高校生などから、震災の状況、これまで取り組んできたこと、今考えていることや今後の目標などの話を聞いたり、意見交換を行ったりした。

日時：平成29年12月23日～26日

参加者：高校生3名

#### (2) 報告会等

気仙沼を訪問して気がついたこと、伝えたいこと、今後取り組んでみたいことなどの報告をした。

防災講演会での報告ポスターの展示（やかげ文化センター 2月17日）

報告会（矢掛町農村環境改善センター 3月18日）

### 6 成果・効果

災害が起きたとき、何をすべきかを学ぶことができた。また、若者が災害時や地域での活動で何をすることができるのかを考え、新たな取り組みを始めるきっかけとなった。

### 7 今後の課題・展開等

気仙沼訪問が12月になったため、訪問で得たことを同年代の者や地域の人々へ伝える場が十分なかったため、今後、様々な機会、場所でいろんな人に今回経験したことを伝えていき、防災や地域での活動の輪を広げていく。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

気仙沼訪問が遅れたことにより、事業実施期間内では成果報告を様々な場所  
でしていただくことができなかった。防災意識の高揚を図るため、今回の事業  
の成果を一過性のものとせず、今後も広く普及させていくため、団体と協力し  
若者が防災について伝える機会を設けることについて考えていく必要がある。

## 9 実施状況

	
震災復興語り部の話をきく	リアスアーク美術館震災関連資料室
	
「NPO底上げ」の高校生の活動	気仙沼の高校生との交流
	
報告ポスターの展示	報告会

- 1 **事業名** : 「地域で、チームで、長い目で」学童保育と作業療法士の連携で安心の子育てを
  
- 2 **実施団体名** : 岡山県学童保育連絡協議会
  
- 3 **協働担当課** : 健康福祉部福祉振興課障害福祉・保護班

#### 4 **事業目的・概要**

##### ・目的

学童保育と作業療法士が連携することで、発達障害児や、診断が出るまでには至っていないが発達の偏りで困難を抱えている子ども達、保護者、保育にあたる指導員を支援する。併せて、「発達領域」に携わる作業療法士（以下「OT」という。）を養成する。

##### ・概要

平成28年度採択された「地域で、チームで、長い目で」事業は、県内はもとより、全国各地から大きな注目を集めた。一方、「発達障害領域のOT」の数の少なさという課題も明らかとなった。よって平成29年度は、前年度試行で最も効果のあったOTの継続訪問数を増やして、実践の積上げを図るとともに、その効果測定を行い、解決策を模索する。

- (1) OTによる継続した学童保育の訪問指導（コンサル）の拡大
  - ・学童保育の指導員のスキルアップや発達領域のOTの育成
  - ・専門家による訪問指導の客観的効果測定
- (2) OTの視点による指導員向け講座
  - ・発達障害児支援入門講座（1日コース 2回実施）
  - ・作業療法的視点で対応できる中堅指導員養成講座（3回連続講座）
- (3) アドバイザー会議
  - ・専門家を座長とする有識者7名会議（2回）
  - ・事業での実例報告や課題の掘り起こし
- (4) 啓発冊子の発行
  - ・事業の実例や効果測定結果等



## 5 事業の流れ等

### (1) OTによる継続した学童保育の訪問指導（コンサル）

#### ア 訪問指導（コンサル）

倉敷市4、総社市2、高梁市2、浅口市2の合計10クラブに対し、指導OT1名+育成OT1～2名で各クラブを3回訪問した。

#### イ 効果測定

専門家（川崎リハビリテーション学院 森川芳彦 講師）が学童保育の訪問指導（コンサル）に帯同し、調査結果をもとに効果測定を行った。

### (2) 作業療法士の視点による指導員向け講座

#### ア 発達障害児支援入門講座

##### ①A（1日コース）

- ・期 日 平成29年9月10日（日）
- ・場 所 ライフパーク倉敷 中ホール
- ・講 師 白鳳短期大学総合人間学科 講師 高畑脩平
- ・参加数 70名

##### ②B（1日コース）

- ・期 日 平成29年11月23日（木）
- ・場 所 ライフパーク倉敷 中ホール
- ・講 師 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター

OT 吉村 学・花岡 彩

- ・参加数 47名

#### イ 作業療法的視点で対応できる中堅指導員養成（3回連続講座）

（場 所：全回 倉敷市 二福のびのびクラブ）

（テーマ：作業療法士による発達障害児支援）

##### ① 第1回

- ・期 日 平成29年12月6日（水）
- ・講 師 倉敷成人病センター OT 河本聡志
- ・参加数 60名

##### ② 第2回

- ・期 日 平成30年1月24日（水）
- ・講 師 倉敷中央病院 OT 佐伯麻衣・田中俊祐
- ・参加数 73名

##### ③ 第3回

- ・期 日 平成30年2月7日（水）
- ・講 師 川崎医療福祉大学 OT 大野宏明

・参加数 76名

(3) アドバイザー会議 委員7名

委員 座長 小林隆司（首都大学東京大学院人間健康科学研究科  
作業療法科学域教授）

檜原伸二（岡山県作業療法士会 会長）

森川芳彦（川崎リハビリテーション学院 講師）

河本聡志（倉敷成人病センター OT）

三宅誠一（（有）ヒロシゲ文庫 代表取締役）

青野雅世（オレンジクローバー 保護者支援者）

宇野京子（（株）ハートスイッチ就労支援コンサル  
タント）

① 第1回

・期 日 平成29年6月23日（金）

・場 所 倉敷市民会館 会議室

・参加者 委員6名 学童保育関係者4名

② 第2回

・期 日 平成29年11月27日（月）

・場 所 岡山県学童保育連絡協議会（倉敷市中島）

・参加者 委員4名 学童保育関係者2名

岡山県備中県民局職員1名

(4) 啓発冊子の発行

事業で得られた事例や専門家による効果測定による結果を冊子  
にまとめて情報発信した。

## 6 成果・効果

(1) 訪問コンサルの実施地域の拡大ができた。（地域で）

ア 6月に管内各市町の学童保育担当者に向けて説明会を実施した  
ところ、昨年実施した倉敷市に加え、総社市や高梁市、浅口市か  
らも実施希望があり、地域、クラブともに拡大した。

イ OTが発達障害児の支援ができる専門職であることが、備中県  
民局管内ではかなり浸透してきた。

(2) 学童保育での発達障害児支援スキルが向上した。（チームで）

ア 「作業療法士」という専門職が入ることで、これまで指導員が  
経験的に蓄積してきた発達障害児の対応を言語化することができ  
た。

イ 各研修・講座で「作業療法的視点」の理解が深まってきた。

1 日入門講座では、グループでのカンファレンスも経験でき、指導員のチーム力を上げるのに役立った。

中堅向け講座では、子どもの領域だけでなく、医療や精神科の領域の OT からの話も組み込まれ、広く長い目で子ども達を見る視点を学ぶことができた。

ウ 専門家による調査研究により、子どもの変化、指導員への効果が明らかになった。

#### 【概要】

コンサルしたうちの 4 クラブ（6 ヶ月間に 3 回訪問）に協力依頼。研究対象の児童は 15 名（男児 13 名、女児 2 名）。対象児は 1～4 年生で、自閉症スペクトラムなどの発達障害の診断を受けた子ども、又は発達に遅れの疑いがある子どもであった。OT が初回訪問時に支援員から対象児の困りごとを聞き、情報収集を行い、対象児を観察アセスメントし、6 ヶ月後、初期時と同様の指標を用いて再評価を行った。指導員の感想として、「子どもの行動の理由を知ることができた。」、「様々な支援方法を具体的に知ることができた。」など肯定的な感想が多かった。OT による子どもの特性や行動の原因についての理解の促しや、関わりや活動の意味付け、OT と指導員による対象児の目標立て、その目標の指導員間での共有による余裕、環境設定の工夫の実践により、対象児の不安が減少し、安心できる居場所ができ、問題行動が軽減したと考える。児童クラブにおいて OT によるコンサルテーションを行うことは、ある一定の効果があったと考えられる。

(3) 「発達障害児」の支援ができる OT の育成が始まった。（チームで）

育成 OT としてコンサルに同行し、報告書を書くことを継続することで、「発達障害児」支援のできる OT としての力が付いてきた。

(4) 行政や他団体との連携が進んだ。（チームで、長い目で）

本事業の実施に当たり、備中県民局管内の市町や県作業療法士会との連携ができた。また、日本作業療法士協会にも訪問し、本事業の報告を行った。

(5) 全国へ発信

本事業について、県内外の議員や学童保育関係者、OT の関心は高く、視察や、事業に関わる OT、指導員等への講師依頼も数多くあった。

## 7 今後の課題・展開等

「学童保育と作業療法士の連携」を長い目で見ていくため、保育園、小中学校、放課後デイサービス等、関係機関との連携の強化を目指したい。また、協働事業の終了後を見据え、事業の自立化や行政による制度化を目指して、行政や議会等にも関心を持ってもらえるよう展開していきたい。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

県民局という広域を対象としたため、2年にして4市での事業展開が実現した。県の補助・後ろ盾があるという事実が、事業の展開をスムーズにしたと思える。

## 9 実施状況

	
アドバイザー会議	訪問指導（コンサル）
	
発達障害児入門講座	発達障害児入門講座



中堅指導員講座



報告冊子

- 1 事業名 : 星空とヒトを繋ぐプロジェクト
- 2 実施団体名 : ir.bisei
- 3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課市町村連携班

#### 4 事業目的・概要

##### ・目的

星空をテーマにした美星の魅力発信により、地域づくりの輪を広げる。

##### ・概要

美星及び近隣地域の住民が、国内外で活躍する建築家 落合守征氏との協働で、星・月・風景の撮影スポットに設置する「星を見上げる装置（以下、「装置」という。）」を作成し、美星を訪れた人が「装置」を使って撮影した星空写真をSNS等で拡散させて、美星の魅力発信者となる。

また、ir.bisei のサイトに投稿された星空写真に魅力的な動きを加えてWEB上で展開させることにより、多くの人が「わたしの特別な場所・美星」として美星に愛着をもち、美星を訪れ、美星の文化に関わることができる多様な交流を生み出す仕組みをつくる。

更に、倉敷市や浅口市など近隣地域と連携し、星空をテーマにした広域的な繋がりを生み出す。

#### 5 事業の流れ等

##### (1) 「装置」についての検討会議

デニム、間伐材、頒布など、備中の素材を集め、その生産者やアーティスト、住民が集まって検討し、「装置」のデザインや配置場所を検討。

##### ≪ 「装置」製作に関する参加者の意見 ≫

- ・耐風性があり劣化時の危険がないもの。
- ・基礎がなく持ち運びできるもの。
- ・風景と一緒に撮りたくなるもの。
- ・比較的簡単に増やせるもの。
- ・高梁川流域の地場材を使用したもの。

##### ≪ 検討会議開催実績（計14回開催、参加延人数90） ≫

- ・5月25日 skype 会議 6名

- ・6月6日 skype 会議 6名
- ・6月17日 ワークショップ 事前会議 7名
- ・6月19日 材料提供、協力のお願ひ（竹井建設）5名
- ・7月20日 skype 会議 6名
- ・8月1日 全体会議 15名
- ・8月2日 材料、塗料の打合せ 4名
- ・8月17日 照明その他機材打合せ 2名
- ・8月17日 ワークショップ 事前打合せ 8名
- ・9月20日 skype 会議 4名
- ・10月3日 配置等打合せ 4名
- ・10月22日 撮影について打合せ 4名
- ・11月20日 改善点の会議 4名
- ・12月2日 全体会議 15名

## (2) 「装置」づくりワークショップ

### 【アイデア会議】

美星又は近隣地域の子ども達が、「装置」についてのアイデア出しと、段ボールを使ったミニチュア版「装置」をデザイン、作成した。

日 時：平成29年6月18日

会 場：中世夢が原

講 師：落合守征氏

参加者：井原市及び倉敷市の小・中・高・大学生 24名

### 【「装置」づくり】

「装置」周辺の装飾部材の塗装、デニム貼り、ミニチュア版「装置」作成、色塗り試作した「装置」の体験

日 時：平成29年8月19日

会 場：美星天文台 星っこ広場

講 師：落合守征氏

参加者：同日開催のAQUA SOCIAL FES参加者 約120名

## (3) お披露目イベント

完成した「装置」の設置とSNSを使った発信プロモーションを行い、会場を訪れた人が、「装置」と風景、「装置」内から見る景色を体験した。「装置」を茶室にみたて、抹茶の提供も行った。

日 時：平成29年10月21日

会 場：中世夢が原 空宙ガールズミーティング会場

参加者：空宙ガールズミーティング来場者 約100名

#### (4) プロモーション撮影会

写真家の荒木文雄氏による撮影を行った。「装置」を楽しみながら記念に残る写真を撮影。撮った写真は、今後のプロモーションに活用する。

日 時：平成 29 年 11 月 1～2 日

会 場：中世夢が原

参加者：地元の子ども、着物の女性モデル 30 名

### 6 成果・効果

- ・多くの方がワークショップに参加することで、地域における新たな人の繋がりができた。
- ・新聞やメディアに取り上げられ、美星の魅力と「装置」のある風景を広く発信することができた。
- ・他地域の星空愛好団体へ働き掛けた結果、淡路島二ジゲンノモリで開催されたイルミネーションイベントからの展示依頼があり、県外に向けても美星の魅力と ir.bisei の取組みを PR できた。

### 7 今後の課題・展開等

#### ・課題

- ・台風で「装置」が大破したことから、保管場所の確保や、荒天時の備えが必要。
- ・お披露目が寒い時期の開催で、当日、雨で気温がかなり下がったことから、開催時期について検討する必要がある。

#### ・展開

- ・更にシンプルで、デザイン性が高く、強度・安全性に配慮した「装置」を製作するための検討を行う。
- ・より多くの地域で、多くの人に体験してもらうよう多方面へ働きかける。

### 8 県民局が協働した効果及び課題

#### ・効果

地域活性化を目的とした県との協働事業であることが多くの報道機関や関係団体に認知され、理解と協力を得られた。

#### ・課題

星空をテーマにした美星の魅力を広域的に発信し、「装置」の貸出等による新たな展開に繋がるよう、更に連携を図る。



9 実施状況

	
<p>ワークショップ（アイデア会議）</p>	<p>ワークショップ（模型づくり）</p>
	
<p>ワークショップ（模型づくり）</p>	<p>イベント会場への搬入</p>
	
<p>「装置」を茶室に見立てて抹茶を提供</p>	<p>星空を見上げる「装置」</p>
	
<p>星空を見上げる「装置」</p>	<p>淡路島でのイベントへ貸出</p>

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.4

- 1 事業名 : ウィキペディアタウン@備中路
- 2 実施団体名 : 一般社団法人 データクレイドル
- 3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課市町村連携班

### 4 事業目的・概要

#### (1) ウィキペディアタウン

備中エリアの町並み保存または伝統的建造物群保存地区でワークショップ型イベント「ウィキペディアタウン」を開催し、備中エリアの町並み保存や伝統的建造物に関するきめ細かい情報を収集して、「ウィキペディア」に掲載することで広く世界に発信する。

#### (2) ウィキペディアコンテンツ活用アプリ開発

地域の学生が、エンジニアやデザイナーの技術支援を受け、ウィキペディア掲載情報を活用したアプリケーションを試作する「アイデアソン&ハッカソン」を開催する。

### 5 事業の流れ等

#### (1) ウィキペディアタウン

実施場所	倉敷市玉島地区	矢掛町	高梁市吹屋地区
実施日	平成29年8月28日	平成29年8月29日	平成29年8月30日
講師	小俣博司先生、小池隆先生（ウィキペディア大山街道プロジェクト）		
掲載情報	玉島町並み保存地区	旧矢掛本陣石井家	旧片山家住宅 吹屋ふるさと村郷土館
参加者	30名	30名	17名
内容	講義①地域の情報を知る、発信するためのウィキペディア <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィキペディアとは、ウィキペディアタウンとは</li> <li>・オープンデータとウィキペディア、地図情報の共有方法</li> </ul> ★フィールドワーク 講義②ウィキペディアの編集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文献調査、記事の作成・編集</li> <li>・成果発表（当日投稿・公開）～講評</li> </ul>		

## (2) ウィキペディアコンテンツ活用アプリ開発

実施場所	データクレイドル データ分析サロン	岡山外語学院	データクレイドル データ分析サロン
実施日	平成29年9月29日	平成29年10月21日	平成30年1月29日
参加者	12名	10名	8名
内 容	学生アイデアソン& ハッカソン（第一弾 ）	翻訳ワークショップ	ン学生アイデアソン&ハッ カソン（第二弾/成果発表）
	ウィキペディア掲載 情報を活用したアプ リケーション企画	ウィキペディア掲 載情報を英語に翻 訳	ウィキペディア掲載情報を 活用したアプリケーション 試作

### 6 成果・効果

- ・ウィキペディアに掲載することで備中エリアの町並み保存や伝統的建築物の情報が世界中に公開され、歴史的に魅力ある町並みに興味を持つ観光客の集客が期待される。
- ・ウィキペディアのコンテンツの一部は、DB ペディアを通じて、オープンデータ/リンクトオープンデータとして活用されているため、アプリや人工知能の知識ベースとして二次利用され、情報拡散が期待される。
- ・経験あるウィキペディアンに講義、指導いただくことで、ウィキペディアタウン運営およびウィキペディア編集ノウハウを地域に蓄積できた。
- ・この事業で作成したアプリ「wiki コンシェルジュ for 岡山」がアーバンデータチャレンジ 2017 アプリケーション部門で学生奨励賞を受賞した。

### 7 今後の課題・展開等

- ・平成 30 年度は総社市（総社商店街筋）、新見市（新見御殿町）でのウィキペディアタウン開催を計画している。
- ・アプリについては、今後のウィキペディアタウン等の実績を加味し、さらなるブラッシュアップを図っていく。

### 8 県民局が協働した効果及び課題

県民局ではこれまで管内各地の町並み保存団体と交流があり、協働事業実施団体とウィキペディアタウンを開催する地区の団体との橋渡し役を果たすことができた。

9 実施状況



ウィキペディアタウン@倉敷市玉島



ウィキペディアタウン@矢掛町



ウィキペディアタウン@高梁市吹屋



【タイトル：...]	
<p><b>・作品概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>...</li> <li>...</li> <li>...</li> </ul>	<p><b>・利用データ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>...</li> <li>...</li> <li>...</li> </ul>
<p><b>・手法、ツール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>...</li> <li>...</li> <li>...</li> </ul>	<p><b>・地域課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>...</li> <li>...</li> <li>...</li> </ul> <p><b>・目指す姿、効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>...</li> <li>...</li> <li>...</li> </ul>

学生アイデアソン&ハッカソン (アプリ開発)

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.5

1 事業名 : 備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～

2 実施団体名 : 一般社団法人 高梁川流域学校

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課市町村連携班

### 4 事業目的・概要

備中人としての教養を身につけ「21世紀の備中人」として地域に資する人材を育成することを目的に、民俗学者の神崎宜武氏を講師に迎え、備中の歴史・地理・芸能・旅・食に係る全6回の対面講義を国指定重要文化財である大橋家住宅（倉敷市）で、定員30名の入塾制度を採り入れて実施した。

また、塾生以外からも広く参加者を募っての公開講座を総社市、高梁市、矢掛町、笠岡市で1回ずつ実施したほか、卒塾生の得意分野を活かしたオムニバス講座を2回開催した。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 対面講義

##### ①開催日及び講義内容 ※（ ）は受講者数

8月25日(金) 古代吉備の風景－遺跡・神話・文化地理 (33名)

9月29日(金) 中世の村落と三斎市－吉備高原の道をたどって (30名)

10月27日(金) 備中神楽「吉備津」－実演を通して能とも比較 (30名)

11月17日(金) 近世の街道往来－参勤交代・伊勢神宮・芝居興行 (24名)

12月15日(金) 年中行事と飲食－備中のまつりと節供を中心に (25名)

1月19日(金) 廿日正月の祝い膳 (33名)

##### ②開催時間

18:30～20:00

##### ③会場

国指定重要文化財 大橋家住宅(倉敷市)

##### ④費用

全6回講座 9,000円 (テキスト代・茶代込)

※学生 5,000円。第6回は、料理代金 6,000円が別途必要。

※全6回の受講で卒塾証が授与され、備中志塾及び高梁川流域学校が主催する講座やプログラム等に優先的に参加できるほか、企画運営に参加することができる。

※単独参加は 1,500円 / 1回

(2) 公開講座 備中学のすすめ「備中人としての教養とは」

※ ( ) は受講者数

6月23日(金) 総社市 総社宮 (42名)

7月21日(金) 高梁市 頼久寺 (31名)

8月11日(金) 矢掛町 やかげ町家交流館 (105名)

9月15日(金) 笠岡市 笠岡諸島交流センター (33名)

※いずれも開催時間は18:30~20:00で参加無料

(3) 卒塾生による講座

※ ( ) は受講者数

9月23日(土) 備中の酒蔵 (10名)

1月15日(金) 倉敷観光を考える (5名)

※いずれも開催場所は倉敷市、開催時間は18:00~19:30で参加無料

## 6 成果・効果

大橋家住宅での本講座6回に加えて、「備中学のすすめ」というエクステンション講座を総社、高梁、矢掛、笠岡で各1回開催し、地域団体の協力を得られ、多くの聴講があった。アンケートの評価も高かった。

また、当事業の計画外のことはあるが、本講座に参加していた金融機関の担当者から社員向けに講座実施の依頼があり、倉敷と総社で各1回実施し、計150人の聴講があった。

当初計画していた卒塾生とのスケジュール調整が出来ず、卒塾生の講座は2回しか実施できなかったが、内容はどれも非常に興味深いものであった。卒塾生の知識、スキルなどをコンテンツ化することで、備中志塾の横のつながりを深めていけるのではないかと。

## 7 今後の課題・展開等

- ・講師の神崎宣武氏頼みの事業となっている。質を下げることなく氏への負担を軽減できるような方策を講じる必要がある。
- ・備中地域の小中高校へのアウトリーチは、ニーズ調査をした上で講師のレベルチェックも含めて慎重に検討する。
- ・卒塾生の講座は継続的に計画する。卒塾生の横のつながりなど、ネットワークを広げる仕組みを検討する。
- ・事業の広がりに合わせて増大する事務作業に対応できるスタッフが必要である。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

県民局は主に広報面を担当し、また、実施中には適宜助言を行ったが、より綿密に事業の進行管理について関わりを持つべきであったと思われる。

9 実施状況



対面講義（大橋家住宅）



備中神楽観賞（大橋家住宅）



廿日正月の祝い膳（大橋家住宅）



卒塾生による講座（倉敷市内）

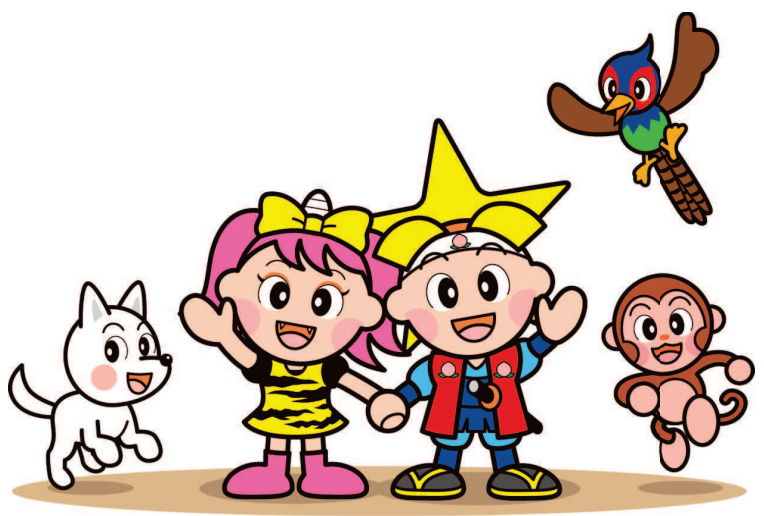


備中学のすすめ（総社市）



備中学のすすめ（高梁市）





©岡山県「ももっち・うらっち」

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.6

1 事業名 : 「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発

2 実施団体名 : 龍の仕事展実行委員会

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

### 4 事業目的・概要

高梁川に育まれた「ものづくり企業」、自社の企業文化の紹介や個性的な商品の販売を行う「龍の仕事展」を活用し、大学生が自己啓発力・自己教育力等を身につけることのできる人材育成プログラムを産一官一学の連携で開発する。

### 5 事業の流れ等

#### (1) 参加学生

岡山県立大学、吉備国際大学、倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、就実大学、作陽音楽短期大学

#### (2) 事前研修

- ・日時：平成29年6月25日 10:00～17:00  
7月 2日 10:00～17:00
- ・場所：備中県民局 会議棟
- ・講師：森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・受講人数：29名

今年度は、事前研修を2回にわたり実施し、2回とも参加を必須とした。龍の仕事展・D-INTERNSHIPの目的やルールの共有、ケーススタディを行うとともに、昨年度の反省から報告・連絡・相談の研修の充実を図った。

#### (3) 企業交流会

- ・日時：平成29年7月12日 17:00～19:00
- ・場所：倉敷商工会議所1階第2会議室
- ・講師：森田恵子 原浩之
- ・参加者：14社21名
- ・内容

企業に学生受入に関する留意点の説明や出展目的の明確化等を図るために実施した。

#### (4) 企業研修

- ・日時：平成29年7月15日～9月15日
- ・場所：出展企業（一部アテンド 久保田正彦）
- ・内容

各学生が龍の仕事展で担当する会社訪問や工場見学等を行い、企業が考える龍の仕事展での目的・目標・課題を踏まえて、学生が展示方法等について、提案を行った。

#### (5) 中間研修

- ・日時：平成29年8月20日（場所：備中県民局会議棟）  
10:00～17:00
- 平成29年8月27日（場所：倉敷天文台）  
10:00～17:00
- ・講師：森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・受講者数：28名
- ・内容

企業研修の進捗状況を掴むとともに、企業研修中に報・連・相が実施できていたかどうかの確認を行った。また、仕事展までの残りの期間で企業研修中に確認・準備すべき事柄の確認も実施した。

#### (6) 直前研修

- ・日時：平成29年9月11日 10:00～17:00
- ・場所：備中県民局会議棟
- ・講師：森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・受講者数：24名
- ・内容

企業研修の振り返りと龍の仕事展で担当企業をどのように紹介するかの提案を行った。また、提案に対して講師が仕事展までに確認すべき点や改良した方が良い点等のアドバイスを実施した。

#### (7) 「龍の仕事展2017」での接客・販売などの研修を通したPDCA実践

- ・日時：平成29年9月16日～9月24日  
9:00～18:00
- ・場所：倉敷アイビースクエア内アイビー学館
- ・講師：森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・内容

龍の仕事展中、毎日朝・夕のミーティングを開き、朝はその日の課題と目標を発表し、夕方は課題と目標に対して取り組んだ成果の報告を実施した。

このように反省と課題解決の方法を考えるPDCAサイクルを回すプログラ

ムを実施した。

(8) 成果発表会

- ・日時 : 平成29年10月1日 10:00~17:00
- ・場所 : 備中県民局会議棟
- ・講師 : 森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・受講人数 : 28名
- ・内容

事前研修から龍の仕事展までの一連の活動を振り返り、これからの大学での学業や自分の人生にどのように生かすかについて発表する成果発表会を実施した。

(9) 事後研修

- ・日時 :  
平成29年10月20日 14:00~18:00 (倉敷天文台)  
27日 10:00~12:00 (おかやまアナウンスラボ)  
11月 2日 13:00~14:00 (おかやまアナウンスラボ)  
20日 17:00~19:00 (おかやまアナウンスラボ)  
27日 17:00~20:00 (おかやまアナウンスラボ)
- ・講師 : 森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・受講人数 : 8名
- ・内容

最終成果発表会で発表する学生を選抜して振り返りやプレゼンテーションのブラッシュアップや伝わる伝え方のスキルアップを図る事後研修を実施した。

(10) 最終成果発表会

- ・日時 : 平成29年12月3日 10:00~17:00
- ・場所 : 備中県民局会議棟
- ・講師 : 森田恵子 原浩之 浅越昌子 久保田正彦
- ・発表者 : 7名
- ・参加者 : 29名
- ・内容

学生がD-INTERNSHIPから得た自身の変化や学びを振り返り、これからの学業や人生にどのように生かすかを考え、一般の方へ発表する最終成果発表を実施した。

## 6 成果・効果

学生アンケートについて、本プログラムが自分のキャリア設計に「とても役立つ」「やや役立つ」（他の選択肢として、「あまり役立たない」「全く役立たない」と答えた学生が9割を超えており、人材育成プログラムとして大きな成果を残したといえる。

なお、龍の仕事展について、今年は天候に恵まれず来訪者数は過去最低の8,153名（対前年度比63.7%）でしたが、会場売上は過去2番目の3,142,131円（対前年度比105.0%）となった。また、客単価とブースの平均販売額で見れば過去最高となり、学生の成果が見えた。

## 7 今後の課題・展開等

今年度は大学での授業にしてもらおうなどの連携を模索したが、効果的なアプローチができなかった。

しかし、学生が参加している大学やOB／OGなどの以前参加した学生からの事業評価は高まっている。今後は、協働事業に関わっている大学の教授やOB／OGからの評価を聞き取り、まとめたものを作成して、大学にPR活動をしていき、大学での授業化を目指していく。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

学生の参加募集においては、大学コンソーシアム岡山との調整やサポートを県民局が行い、大学での単位化という事業自立の方向性を示せたことが成果として上げられる。

また、県民局の会議棟を研修の会場として利用することや広報活動の面ではテレビ放送、プレス発表によるマスコミへの周知、またローソンへのチラシの配布も実施した。

課題として、大学と事務局の顔合わせをすることはできたが、自立化に結びつくまでの支援が結果としてできなかったことが上げられる。

## 9 実施状況



事前研修



企業交流会



企業研修



中間研修



直前研修



PDCA 実践



P D C A 実 践



成 果 発 表 会



事 後 研 修



最 終 成 果 発 表 会

1 事業名 : 高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発

2 実施団体名 : 一般社団法人水辺のユニオン

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

#### 4 事業目的・概要

高梁川トレイルが風土ツーリズムとして完成するよう、ルートの開発・磨き上げ・マーケティング、オープンデータマップ制作、推進体制整備等を行う。

#### 5 事業の流れ等

##### (1) モニタートレイルの実施

地域団体との協働によりルートへの磨き上げやモニタートレイルの実施、マーケティング調査等を行い、観光商品化に向けて検討した。

①JR 高梁駅～御根小屋跡～備中松山城～高梁美しい森ルート

実施日 : 11月25日 (参加者4名)

②成羽美術館～宇治～延命寺～吹屋(泊)～坂本～花木～鯉が窪湿原～新見哲西ルート (1泊2日)

実施日 : 12月9日～10日 (参加者5名)

③JR 倉敷駅～阿智神社～藤戸寺～天城池田～熊野神社ルート

実施日 : 2月4日 (参加者6名)

④笠岡金浦～矢掛町～美星町三山 (明治期「魚荷道 (とと道)」) ルート

実施日 : 1月14日、1月28日 (計2回、参加者43名)

⑤岡山県立大学～砂川公園～鬼ノ城～血吸川～足守ルート

実施日 : 2月3日 (参加者8名)

##### (2) シンポジウム

明治期の魚荷道の調査開発活動を中心に各団体・組織との協働について討論、各地域のトレイル活動報告を行った。

日時 : 平成29年12月8日 (金) 13:00～17:00 (参加者32人)

テーマ : 高梁川トレイル協働の仕組みと可能性～明治期の魚荷道の調査開発を中心に～

##### (3) 講座

各ルートの講師が行程に沿って史跡や見どころを説明し、事前に各ルートの魅力や歴史的背景への理解を深めた。

第1回 日時 : 平成29年7月7日 (金) 10:30～12:00 (参加者10人)

内容 : 笠岡金浦～矢掛町～美星町三山ルートについて



第2回 日時：平成29年10月30日（月）18:00～19:30（参加者9人）  
内容：備中高梁駅～備中松山城～高梁美しい森ルート、  
成羽美術館～窓坂峠～宇治～延命寺～吹屋ルート、  
吹屋～坂本～鯉が窪湿原～新見哲西ルートについて

第3回 日時：平成29年12月16日（土）18:00～19:00（参加者5人）  
内容：倉敷川を辿るルートについて

(4) 高梁川トレイル読本の制作

高梁川トレイルのマップ、ルートの歴史や史跡等の解説を記載した読本1000部制作した。

(5) 高梁川流域トレイル推進協議会

高梁川トレイルを推進する団体や組織をとりまとめ、連携体制を検討して各地域に部会を設置するなど、協議会の設立に向けての準備を行った。

(6) 高梁川トレイルのためのグリーンインフラ整備

「おかやま森づくり県民基金事業」等を活用し、トレイルルート of 環境整備に向けた検討を行った。

## 6 成果・効果

- ・講座とモニタートレイルをセットすることにより、参加者が各ルートの歴史や文化を深く知ることができ、満足度も高くなった。
- ・旅行会社の助言を参考に、モニタートレイルの人数や実施方法等を検討し実施することができた。
- ・1ルートのモニタートレイルでは、旅行業者の協力を得て実施することができた。

## 7 今後の課題・展開等

- ・各トレイルの距離が長く、内容も多いことから旅行会社が扱う一般向け商品としては難しいことがわかった。ターゲットに応じたルート設定やポイントの絞り込みによる磨き上げを検討する。
- ・講師が高齢となっており、後継者の育成が急がれる。
- ・地域団体・組織との協働によるルート環境整備の体制を引き続き検討する。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

- ・旅行会社への働きかけ等を助言し、旅行商品化に向けての可能性や課題の整理を進めた。
- ・モニタートレイルやシンポジウム開催のプレス発表やチラシ設置により広報を行った。

9 実施状況



シンポジウム



講座



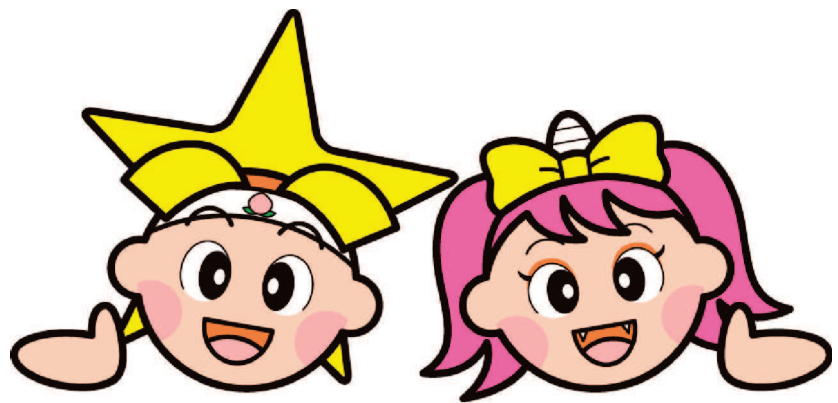
モニタートレイル

(明治期魚荷道ルート)

(倉敷川とともに歴史を辿るルート)



トレイルマップ、トレイル読本



©岡山県「ももっち・うらっち」

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.8

1 事業名 : 大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業

2 実施団体名 : 輝け！江良元気会

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

### 4 事業目的・概要

#### ・目的

岡山の大学留学生との交流をとおし、「ひと、もの、こと」を活用し、地区民の創意と工夫で、地域の活性化を進めることを目的とする。

#### ・概要

大学留学生を受け入れるための事業として、江良谷川公園の整備・清掃、ホームステイ受入家庭の開発等の実施、大学留学生との交流として、ホームステイ、神輿担ぎ等の実施、まちづくりの意見交換として、留学生と地区民との話し合いを実施する。

併せて、江良の産業振興を図るため、国際農園野菜作りとして、ケニアの野菜、ステビアの栽培を実施する。

### 5 事業の流れ等

#### (1) ホームステイの実施

##### < 1回目 >

日 程 平成29年7月15日(土)～16日(日)

参加者 留学生10名、受入家庭10

##### < 2回目 >

日 程 平成29年11月11日(土)～12日(日)

参加者 留学生8名、受入家庭8

#### (2) 神輿担ぎ

日 程 平成29年10月8日(日)

参加者 留学生15名、地域住民等83名

内 容 若宮神社の神輿担ぎを留学生とともにいき、休憩時には地域住民との交流を行う場を設け、活発なやりとりが行われた。

#### (3) 伽藍山登山

日 程 平成29年10月9日(月)

参加者 留学生15名、地元有志・岡大教員等15名

内 容 地域の観光資源として整備を進めている伽藍山の登山を行い、交流を行いながら、感想などを聞いた。

#### (4) 国際農園野菜づくり

ケニアの野菜作りについては、平成 27 年度に岡山大学留学生と打合せ、28 年度に土壌検討を行った後、29 年度に実際の植え付けを行い、調理・試食を行った。

ステビアについては、28 年度末に岡山大学留学生と打合せを行い、29 年度に土壌検討、500 本の植え付けを行い、10 月の収穫後は食材として様々な活用を実験的に行った。

### 6 成果・効果

岡山大学留学生との交流については、ホームステイの受入家庭は江良地区外からの応募が増え、江良地区内では留学生との交流が次第に円滑になってきた。留学生は帰国後も江良を応援してもらっており、サンフランシスコでの大名行列の際には、かつて交流を行った留学生が仲間を募り意欲的に参加している。

国際農園野菜づくりについては、道半ばで十分な結果は得られていない。

### 7 今後の課題・展開等

地区住民が自発的に地域活性化を望む環境づくり、世代を超えた地区住民の強い絆の構築、地域活性化のための大学及び留学生との連携が主な今後の課題である。今までの地域外とりわけ留学生との交流の取組を基礎としながら、地域内課題の解決に向けた取組を進めるため、「おかやま元気！集落」の登録を行い、新たな地域活性化に取り組む。

### 8 県民局が協働した効果及び課題

広報については、イベント実施時、山陽新聞や地元ケーブルテレビからの取材があり、十分な効果があったと思う。事業そのものは、地域で継続的に行っているため、指導や助言という場面はなかったが、今後、他の地域活性化策に取り組む中で支援を期待している。

### 9 実施状況

	
7/16 ホームステイ解散会	10/8 神輿担ぎ

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.9

1 事業名 : 若者×大人×地域 備中まるごと【夢＝志事】化事業

2 実施団体名 : 備中志事人

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

### 4 事業目的・概要

#### ・目的

中高生の相互にとって学び合いの場づくりを行っていくことだけでなく、若者に協力する大学生や大人達自らもチャレンジしていくことにより『つながり』と『循環』による地域活性の”追い風”を創り出すことを目的とする。

#### ・概要

地域の現状や課題を知るためのフィールドワークや地域で誇りをもって活動する先輩や大人たちとの意見交換、先進的な取組を行っているゲストから生き様や熱い想いを聴く学習会等の実施

### 5 事業の流れ等 (実際に実施した内容 (日時、場所、講師、内容、参加者、対象など))

#### (1) コノユビトマレ MTG (ミーティング) @浅口

○日時 平成29年6月4日(日) 10:00~15:00

○場所 金光駅周辺、鴨方高校

○内容 ①あさくち未来Labによる古民家再生事業の取組紹介  
②フィールドワーク(高校生が案内する金光の魅力)  
③フリップトーク(若者と大人の交流会)

○参加者 中高生・大学生・一般合わせて約30名

#### (2) コノユビトマレ MTG (ミーティング) @井原

○日時 平成29年7月23日(日) 10:00~15:00

○場所 アクティブライフ井原

○内容 夢多話会 ①ゲストトーク  
(『人生グラフ』を用いたサンプリング)  
②フリップトーク(若者と大人の交流会)

○ゲスト

i)橋本 雅弘 [消防士・アーティスト]

ii)中村 和裕 [福山大学・助教、総合格闘技 DEEP の元ミドル級王者]

iii)傍田 玲美子

[菓子製造・カフェ経営、『ハジマリニワークス』代表]

- iv) 名合 伯豊 [画道家]
  - v) 大原 あかね [大原美術館 理事長]
  - vi) 仁城 亮彦 [野良芸術家「チリトガス」]
- 参加者 小中高生・大学生・一般合わせて約 60 名

(3) コノユビトマレ合宿 (キャンプ) @笠岡

- 日時 平成29年9月23日(土) 10:00~24日(日) 16:00
  - 場所 笠岡市認知症介護研修センター
  - 内容 マイプロジェクトの作成・発表
  - ゲスト
    - i) 今村 亮 [認定NPO法人カタリバ マネージングディレクター]
    - ii) 川辺 笑
- [MY PROJECT AWARD 2016 ALL Star Team (徳島県立高校生)]
- 参加者 中高生・大学生・一般あわせて約 65 名

(4) ジブンゴト学会@くらしき作陽大学

- 日時 平成29年12月24日(日) 10:00~16:00
  - 場所 くらしき作陽大学
  - 内容 ①マイプロジェクトの発表およびブラッシュアップ  
②フリップトーク (若者と大人の交流会)  
③クリスマス交流会 (大学生企画による若者と大人の交流会)
- 参加者 小中高生・大学生・一般あわせて 66 名

(5) コノユビトマレ MTG@勝央

- 日時 平成30年2月3日(日) 10:00~15:00
  - 会場 勝央町役場
  - 内容 夢多話会 ①ゲストトーク  
(『人生グラフ』を用いたサンプリング)  
②フリップトーク (若者と大人の交流会)
- ゲスト
- i) 日下 輝之 [シンガー・ソングライター]
  - ii) 竹久 保
- [前勝央町教育委員会教育長、森林ボランティアきのこの森会員]
- iii) 本行 才泰
- [地域活性化興行師、(株)勝央体験ファクトリー 代表取締役]
- iv) 大道芸人チャーリー [風天の大道芸人]
  - v) 福島 康人 [和菓子職人、板屋菓子舗 専務]

vi)北村 友恵

[美容室おしゃれ泥棒 (おしゃれ TOM) 専務、美容福祉士]

(6) その他 (『全国高校生マイプロジェクト』との接続)

○H29. 10. 28-29 全国高校生マイプロジェクト 『関西カイギ@大東』

○H29. 12. 17 全国高校生マイプロジェクト

『関西マイプロ フォローアップミニカイギ』

○H30. 2. 18 全国高校生マイプロジェクト

『MY PROJECT AWARD 2018 関西大会』

## 6 成果・効果

中高生が、自らが活動している地域活動やその思いを大学生や大人に認められることを通して、自信を持つことができる貴重な機会となっている。

また、参加している中高生は地域活動への意識が高く、そのような子供達の間でつながりができることは、地域活動を今後行っていく中で有用であると考える。

## 7 今後の課題・展開等

当初予定していたスケジュール通りに事業の実施ができなかったことが課題として上げられる。しかし、今年度実施したことで中高生のスケジュールの流れが把握できたため、来年度以降は改善され、より多くの中高生が参加しやすくなることを期待している。

また、今後備中地域だけではなく、県内の他の地域に広げることにより多くの中高生に今後の成長を与えるような活動を行っていく。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

プレス発表を実施することによって、マスメディアへ活動の周知を行い、新聞記事に取り上げられたことで広域的な広報を実施できた。

ただ、事業について進捗状況の報告等を受けるにとどまり、事業の進行について何かしらの支援を行うべきだった。



9 実施状況



コノユビトマレ MTG@井原



コノユビトマレ MTG@井原



コノユビトマレ合宿@笠岡



コノユビトマレ合宿@笠岡



ジブンゴト学会



ジブンゴト学会

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No.10

1 事業名 : 備中の食を知る！備中の食材を使った料理教室と食育講座

2 実施団体名 : 株式会社浅原青果

3 協働担当課 : 農林水産事業部農業振興課

### 4 事業目的・概要

消費者と生産者が Win-Win の関係を築き、相互が協力し、岡山の1次生産を盛り上げる。

### 5 事業の流れ等

(1) 地産の生産物を使った料理教室とお話し

- ・ 9月27日(水) おかやまの食材を使った料理教室 25名
- ・ 12月6日(水) 岡山のお雑煮作り 雑穀でお餅をつこう 21名
- ・ 1月17日(水) ジビエ料理教室岡山のジビエについて話を聞く 23名

(2) 圃場体験と備中食のツアー

①「テーマ」農業用施設と地域の食文化を訪ねるツアー

- ・ 6月28日(水) 高粱食ツアー 高粱川の川魚のお話し 27名
- ・ 8月30日(水) 新見農業用ダムと新見食のツアー(あまご養殖・紅茶) 27名
- ・ 11月14日(火) 笠岡干拓 農・酪農の見学と排水機場見学 27名
- ・ 3月7日(水) 古民家再生 宿主のお話し 25名

②圃場体験・市場探検 (対象親子)

- ・ 3月2日(金) 市場探検 5名
- ・ 9月9日(土) 収穫体験 69名

### 6 成果・効果

料理教室やツアーの参加者が、それぞれの機会に専門家から説明を受ける事により、本物の調味料や地元の食材の豊かさ、地域の生産者や特産物へ高い興味を示す等、消費者と生産者の相互理解が進み、本来の目的を達成することができた。

## 7 今後の課題・展開等

食育もツアーも今までより一步踏み込んだ内容となったが、当初目的としていたコミュニティの形成に至っていない。

ツアーや料理教室の参加者とのコミュニケーションの中で、食の豊かさを求める人は多いものの、備中地域の製造者や生産者については全く知らない人がほとんどである。

そのため、継続して消費者への啓蒙活動を続けていく事が重要である。

今回は生産者から食文化へと繋ぐ事が出来なかったため、風土、文化についてもその成り立ちと時代の影響による変遷等、踏み込んだ説明を行い、理解を深めていくことが必要となる。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

県民局が、ツアーの視察先として農業水利施設を紹介した。普段入る事のできない場所であり、県の担当者が熱心に説明したことにより、岡山県の農業や県民を支える施設の視察は大変意義のあるものと参加者に感じてもらうことができた。

一方、広報による協働は、毎回チラシを市町、農協に配布したが、そのチラシを見て参加する方は少ないようだった。

そのため、今後同じような取組がある場合は、このような事業に関心の高い県民に向けて、効果的に広報することが必要である。

## 9 実施状況



料理教室 (9/27)

テーマ：みそ



料理教室 (12/6)

テーマ：雑穀



料理教室 (1/17)  
テーマ：ジビエ



ツアー (6/28)  
酒津配水地 (倉敷市)



ツアー (8/30)  
三室川ダム (新見市)



ツアー (11/14)  
笠岡湾干拓地寺間排水機場



市場体験 (3/2)



収穫体験 (9/9)



©岡山県「ももっち・うらっち」

## 4 平成29年度 協働事業の概要 No11

- 1 事業名 : ジビエ調理でつなぐ食と農の架け橋～ジビエの需要拡大を目指して～
- 2 実施団体名 : 一般社団法人水辺のユニオン
- 3 協働担当課 : 農林水産事業部農畜産物生産課農産班

### 4 事業目的・概要

#### ・目的

- ・ジビエを地域資源として有効に活用することで有害獣の捕獲を進めることは、農作物被害の抑制にもつながる。
- ・このため、イノシシをジビエ料理として食卓に上げるまで、捕獲から解体、加工、流通までの適正な流れをつくり、シシ肉の需要を拡大し、ジビエ料理を地域の新しい食材として定着させる。

#### ・概要

- (1) ジビエ塾の開催（地域猟友会の協力のもと、野生鳥獣の生態・捕獲から解体、加工までの一連の知識と技術を習得する狩猟者を育成する。）
- (2) 備中ジビエコンテスト開催（ジビエの魅力を広く伝え、需要拡大を図る。）
- (3) 新たな商品開発とレシピ公開

### 5 事業の流れ等

項目	日時・場所	参加者	内容
ジビエ塾の開催	H29. 9. 16 倉敷市	7名	・全体説明（狩猟からジビエまで）
講師 新見市の猟師 長尾 一三 氏	H30. 1. 20 新見市	4名	・解体・加工（冷凍）
	H30. 2. 16 新見市	5名	・猟師のジビエ料理
備中ジビエ料理 コンテストの開催 講師 奈良大学名誉教授 高橋 春成 氏	H30. 2. 24 倉敷市 (アビーズスク エア)	約 100名	・11月1日から12月15日まで、備中 地域を中心とした飲食店で、ジビエ料 理コンテストを実施 ・2月24日には、最終選考会・シンポジ ウムを開催
新たな商品開発			・前年度試作の「山くじら丼」「キーマ カレー」を磨き上げ、試験販売の実施

			・シシ肉が安定供給され流通されるまでをサポート
--	--	--	-------------------------

## 6 成果・効果

・ジビエ塾は、初めての試みで対象者も猟師免許取得を目指す者から単にジビエ料理に関心がある方まで幅広い層を対象者とした。狩猟期に講座をしたことが失敗で、全3回のうち全てに参加した方は1名という結果であった。しかしながら最終回では、50代、60代の猟師の方も参加いただき、結果として、地域の猟師同士の交流を図ることができた。

・平成28年度から開催の「備中ジビエ料理コンテスト」は、17店舗の参加があり、コンテストを通じ、一般販売を含め、約1トンのシシ肉を流通させることができた。

・参加店舗のジビエに対する意欲にバラツキはあるものの、総じて食材として魅力を感じており、今後、シーズンに関わらずシシ肉を使用するという料理店もあり、ジビエの需要を喚起することができた。

・備中ジビエ料理コンテストの最終選考会の前に実施した奈良大学名誉教授の高橋春成氏の「イノシシと人間」をテーマにした講演とシンポジウムは、ジビエを通して、都市部に生活する人と自然との共生について考えるきっかけとなった。

・最終選考会は、約100名が参加し盛会に開催することができた。料理人同士の情報交換の場にもなり、次年度開催に向けての意欲も上がった。

・備中ジビエ料理コンテストの開催を通じて、知己を得て交流が出来た高梁川流域の信金のクラウドファンディングでは、シシ肉の供給を安定させるため、高機能の大型冷凍庫を整備するための資金集めをするという機会も得た。ジビエ普及を通して、様々な波及効果を生む結果となった。

## 7 今後の課題・展開等

・猟師の後継者育成とシシ肉の流通を拡大すること。

・猟師グループや加工業者、流通販売業者、行政が協働した新見のシシ肉ジビエのブランド化を図ること。

・高梁川流域の広域連携で新見産シシ肉ジビエを中心とした地域食材全体の流通を拡大することを目的とする協議会組織設立も提案していく。

・イノシシと人間の共生に関しては、今回最終選考会での講演していただいた高橋春成氏に継続的に指導を受け、イノシシの生態調査や科学的な手法によるイノシシと人の棲み分け、個体数の維持などを含めて、イノシシを生態系の中で理解する活動も継続する。

・高梁川トレイルなどの成果とも結びつけて、グリーンツーリズムやジビエツーリズムなどにも展開をさせる。

## 8 県民局が協働した効果及び課題

- ・企画実施に当たっての助言、参加者募集への協力などを行った。
- ・ジビエ普及のため消費者への啓発はできたが、円滑な事業実施のための推進体制づくりが今後の課題として残った。

## 9 実施状況

	
高橋春成氏によるシンポジウム	
	
レシピ公開 (2品)	





©岡山県「ももっち・うらっち」

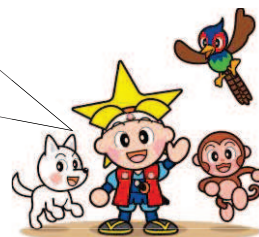
岡山県備中県民局

皆さんの力が  
必要です！

# 協働事業提案募集

岡山県備中県民局では、地域の諸課題を解決し、個性豊かで活力ある「生き生きおかやま」を実現するため、NPO、市民活動団体、町内会、ボランティア団体など多様な主体との協働の取組として、『協働事業提案募集』を実施します。

皆さんの自由な発想と情熱で、『備中の地域づくり』に参加しませんか？



©岡山県「ももっち」

※本事業は平成29年度に実施するものであることから、岡山県議会において、平成29年度当初予算のうち関係予算が成立することが条件となります。

## 募集テーマ



詳しくは次ページを見てね！

### ◎指定テーマ

備中県民局管内の様々な課題や、今後取り組むべき事柄について、8つの具体的なテーマを設定しています。この中から選択したテーマに沿った事業を提案してください。

### ◎自由テーマ

指定テーマに該当しないものであっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められるものであれば、自由テーマとして事業を提案してください。

## 応募方法等

応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添付の上、郵送、持参、FAX、Eメールのいずれかの方法により、右記提出先へ提出してください。

応募様式及び詳細な内容は、「平成29年度岡山県備中県民局協働事業提案募集要項」に掲載しています。応募される場合は、必ずこちらもお読みください。

要項・様式は、右記問い合わせ先及び備中県民局管内各地域事務所地域総務課で配布するほか、備中県民局ホームページからもダウンロードできます。

## 募集期間

平成28年 11月1日(火) ～

平成28年 12月9日(金)

(最終日消印有効)

### 提出・お問い合わせ先

〒710-8530 倉敷市羽島1083

岡山県備中県民局 地域づくり推進課 市町村連携班

TEL : 086-434-7004(直通)

FAX : 086-426-9305

E-mail : bichu-chisei@pref.okayama.lg.jp

## ○対象及び応募資格

岡山県内に事務所又は備中県民局管内に活動場所を有する団体で、次の要件を全て満たす団体とします。また、複数団体をメンバーとし、応募することも可とします。なお、個人は対象としません。

- 1 備中県民局管内で事業実施できること。  
※備中県民局の管内は、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町の7市3町です。
- 2 事業の遂行に必要な組織・人員を有し、備中県民局と協働し、事業を最後まで適正に実施でき、実績報告が提出できること。
- 3 組織の運営に関する規則（規約、会則等）又はこれに準ずるものがあること。
- 4 予算・決算を適正に行っていること。
- 5 原則として、1年以上継続して活動していること。  
（任意団体が特定非営利活動法人化した場合は、任意団体活動歴を含む。）
- 6 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体ではないこと。
- 7 特定の公職者や政党を推薦し、支持し、反対することを目的とした団体ではないこと。
- 8 暴力団又はその構成員の統制下にある団体ではないこと。

## ○応募できる事業数

1 団体あたり2事業まで応募できるものとします。ただし、自由テーマを除き、同一テーマでの2事業の応募は不可とします。

## ○応募制限

同一事業の採択は4回までとします。それを超えての応募はできません。

## ○審査・選考及びプレゼンテーション

- 1 審査、選考は、学識経験者、NPO関係者等で構成する「備中県民局協働事業審査委員会」が行います。
- 2 第一次審査（書類選考）を通過した提案については、課題や事業の進め方等を備中県民局と共有するため、提案団体と備中県民局の担当部所とで協議を行います。協議の過程で、事業計画等の修正が必要になる場合もあります。
- 3 第二次審査（最終選考）では、提案団体によるプレゼンテーションを行います。当日参加いただけない場合は、審査の対象外となります。

## ○協定の締結（事業化の決定）

第二次審査で採択された提案を提出した団体は、役割・責任分担や経費負担等について備中県民局の担当部所と協議を行います。協議の結果、合意を得た場合に、提案内容の事業化が決定することとし、団体と県民局との間で協定を締結して事業を実施します。

※ 第二次審査で採択された段階では、事業化はまだ決定していないことに、ご注意ください。

## ○事業の条件

事業は、「募集テーマ」に沿ったもので、次の条件の全てを満たすものとします。

- 1 公益的、社会貢献的事业であり、広く社会的課題の解決が図られること。
- 2 備中県民局と協働することにより、相乗効果が得られる事業であること。
- 3 地域住民のニーズが認められ、実施により地域住民の満足度が高まる事業であること。
- 4 特定の地域を対象とする事業については、先進性、先駆性が認められ、他の地域への波及が期待できるものであること。
- 5 予算見積が適正であり、必要最小限の経費となっていること。
- 6 原則として、平成29年度の単年度事業であること。  
（終期：原則として、平成30年2月末）

### ※ 対象外とするもの

次のいずれかに該当する事業は、対象外とします。

- ① 営利を目的とする事業
- ② 特定の個人や団体のみが利益を受ける事業
- ③ 施設等の建設及び整備を目的とする事業
- ④ 岡山県の他の事業により助成を受けている（受ける計画のある）事業  
※その他、県の他の補助事業に応募可能な事業は、採択を見合わせる場合があります。
- ⑤ 国、他の地方公共団体及び他団体から助成等を受ける計画のある事業で、その助成が受けられなかった場合、実施できなくなる（事業縮小、資金調達ができない）事業

## ○備中県民局の経費負担

- 1 事業費のうち備中県民局が負担する経費は、提出された事業計画書や収支予算書により事業毎に判断します。（採択されても、県民局の経費負担については申請額どおり認められない場合があります。）
- 2 備中県民局が負担する経費については、次の取扱とします。
  - ① 採択1回目の事業は、補助率10分の10とし、上限を1件につき200万円とします。
  - ② 採択2回目から4回目の事業は、補助率2分の1とし、上限を1件につき100万円とします。
- 3 事業の実施に直接必要な経費を負担するものであり、事業とは関わりのない経費（団体の管理運営費等）は対象外とします。また、備品購入費も対象外とします。
- 4 備中県民局が経費を負担した場合において、事業実施後に余剰金が発生した場合は、返還していただきます。

## ○事業の流れ（スケジュール）

募集期間	→	第一次審査	→	担当部所	→	第二次審査	→	事業採択	→	担当部所	→	協定締結	→	事業	→	事業
		（書類選考）		との協議		（プレゼンテーション）				との協議		事業化決定		実施		評価
H28.11.1		H29.1下旬				H29.4.17(月)										H30.3
~H28.12.9		<結果通知>														

# 指 定 テ ー マ

指定テーマは以下に掲げる8項目です。このテーマに沿った事業を提案してください。

なお、指定テーマに該当しないものであっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められるものであれば、自由テーマとして事業を提案してください。

## ① 子どもと若者が健やかに育つ社会づくりの推進

備中県民局管内の各地域の現状と課題を踏まえ、子どもと若者が健やかに育つ社会づくりを推進するために効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・子どもや若者がふれあう居場所づくりの企画・運営
- ・子どもや若者の地域に対する愛着心を育む取組（ボランティア活動や社会貢献活動）の企画・運営
- ・地域住民との交流や、個別の取組の連携推進など、地域全体で青少年を健全に育成する気運を高めるための取組の企画・運営
- ・子どもや若者が事故や犯罪に巻き込まれないための取組の企画・運営
- ・発達障害の不安や悩みを持つ人やその家族が相談できる場等を提供する取組の企画・運営

## ② 備中の地域・伝統文化の発信

備中地域の個性ある文化や地域に多く残る伝統的町並みをクローズアップし、広く情報発信を行うことにより、地域の文化振興を図る事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・備中地域の個性ある産業、歴史、伝統、食など地域の特色を踏まえ、内外に情報発信することができるシンポジウム等の企画・運営
- ・特定地域を対象とするのではなく、備中の広域的エリアを舞台とすることにより、「文化で備中を結ぶ」ことが期待される取組
- ・備中地域の各地を巡る、伝統的文化やアートを体験するプログラムを一定期間実施することにより、文化に親しむ「きっかけ」をつくる取組

## ③ 産業・観光の振興

備中地域の「強みを活かした産業競争力の強化」や「雇用の確保」等、産業の振興に効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・労働者の知識や技能を高めるための研修・訓練等の企画・運営
- ・着地型観光や産業観光のスポットやルートの開発及びそれらを定着させるための事業の企画・運営
- ・地域資源を活用した特産品づくりなどの地域の産業振興につながる取組

## ④ 中山間地域・離島の活性化の推進

企業や教育機関、NPO等と中山間地域・離島が連携した地域活性化のための事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・都市部から中山間地域・離島への移住者を増加させるための交流会、ツアー等の企画・運営
- ・中山間地域・離島と都市部の若者がつながるインターンシップ等の企画・運営

## ⑤ 地域における環境学習リーダーの養成

各地域の実情に応じた環境問題についての知識を有し、地域の環境保全活動の推進に貢献する環境学習リーダーを養成するための事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・環境学習リーダー養成の講座・講演会の実施
- ・リサイクル、環境対策に係る施設見学会
- ・自然体験観察会等の実施

## ⑥ 私たちの暮らしと土木

安全で安心な生活を送ることに不可欠な土木施設（道路、河川、海岸、港湾、公園等）について、魅力や重要性を周知し、理解を深めるための事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・防災意識の向上や土木施設の重要性を再認識するイベントの開催
- ・歴史的土木遺産等の見学会の企画・運営
- ・学生を対象とした建設現場見学会等の開催
- ・子どもを対象とした身近な建設機械とのふれあいイベントの開催

## ⑦ 食と農をつなぐかけはし推進活動

備中地域の多彩な食材を活用し、生産者と消費者の相互理解を深めるイベントの開催や、6次産業化や農商工連携による新商品の開発等により、ブランド力の向上を図る取組の企画・運営

【例えば・・・】

- ・農作業体験など、消費者と生産者の交流によって農林水産業を身近に感じ、次世代へつなぐ活動の企画・運営
- ・地域食材を活用した料理教室の開催やレシピの提案・普及
- ・果物や野菜を使ったスイーツの開発、商品化及び販路開拓
- ・地域食材を使ったレストランメニューの開発やイベントの開催
- ・子どもを対象とした、食育活動やイベントの開催

## ⑧ 農地の有効活用による地域活性化

効率的な農業生産、耕作放棄地の解消、農業の多面的機能の発揮など、農地の有効活用による地域活性化の企画・運営

【例えば・・・】

- ・現在ある農地の有効活用等、儲かる農業への展開
- ・市町農業委員会、岡山県農地中間管理機構など、農地に関する専門機関と連携した農地集積・集約化や有効活用に向けた取組
- ・消費者や企業等、多様な主体による地産地消や食育推進など、地域活動の場づくり
- ・農地の有効活用・耕作放棄地の発生防止策の調査研究・実証
- ・地域おこし協力隊等、外部からの人材による農地や空き家情報の収集・提供
- ・農地をはじめとする地域資源の活用シンポジウムの開催



## 5 備中県民局協働事業審査委員会の概要

### (1) 協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）

協働提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言を求める目的で、平成22年度に設置したもの。

### (2) 平成29年度審査委員会委員

- ・松畑 熙一（委員長） 中国学園大学・中国短期大学 学長
- ・佐藤 和順 岡山県立大学保健福祉学部 教授
- ・高平 亮 岡山NPOセンター 理事
- ・古賀 桃子 ふくおかNPOセンター 理事長
- ・黒宮 亜希子 吉備国際大学外国語学部 准教授
- ・桑木 真澄 倉敷市市民協働推進部次長（兼 市民活動推進課長）

### (3) 平成29年度における審査委員会等開催状況

#### ア 第1回審査委員会

- 日時 平成29年4月17日（月）9:00～16:30
- 場所 備中県民局会議棟第4～第6会議室
- 主な内容

平成29年度協働事業提案募集における第二次審査(団体によるプレゼンテーション)を実施し、応募のあった23事業のうち、第一次審査を通過した13事業について審査した結果、11事業を採択した。

#### イ 採択事業の進捗状況等について

- 日時 平成29年11月～12月
- 場所 審査委員会委員勤務先等
- 主な内容

- ・平成29年度協働事業提案募集制度における採択事業の進捗状況について

#### ウ 平成30年度協働事業提案募集制度第一次審査(書類審査)

- 日時 平成30年1月
- 場所 審査委員会委員勤務先等
- 主な内容

- ・平成30年度協働事業提案募集により応募のあった19事業について、第一次審査(書類審査)を各審査委員会委員が実施し、その結果、11事業が第一次審

査を通過した。

エ 第2回審査委員会

○日時 平成30年3月9日(金) 13:00~17:30

○場所 備中県民局会議棟第1~第3、第5会議室

○主な内容

平成29年度協働事業提案募集制度により採択された11事業について、事業実施団体が結果報告プレゼンテーションを行い、審査委員会委員が講評等を行った。



第1回審査委員会の様子(その1)



第1回審査委員会の様子(その2)



第2回審査委員会の様子(その1)



第2回審査委員会の様子(その2)

## 6 協働研修等の実施状況

### (1) 地域創生リーダー養成塾

中国学園大学・中国短期大学の松畑熙一学長を迎え、地域で活動する団体の取組がより効果的に継続して実施されるよう「これからの地域リーダーに何が求められているのか」「優れた地域リーダーは何が優れているのか」をテーマに研修を行った。

日 時	第1回 平成29年7月18日(火) 13:30~16:30 第2回 平成30年2月19日(月) 13:30~16:30
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	備中県民局職員、市町職員、特定非営利活動法人役員等 延べ26人
講師	松畑熙一 中国学園大学・中国短期大学 学長
内 容	講演 「地域創生リーダー」を目指して
状 況	○研修の様子





(2) プレゼンテーション研修会



中国学園大学 国際教養学部 藤代昇丈講師を講師に迎え、プレゼンテーション研修会を実施した。

日 時	平成29年11月6日(月) 13:30~16:30
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	県職員、市町職員、特定非営利活動法人役員等 24人
講 師	藤代 昇丈 中国学園大学国際教養学部国際教養学科講師
内 容	講演：「気持ちを伝える効果的なプレゼンテーションのために」
状 況	○研修の様子    

(3) 備中協働ゼミ2018 自慢しましょう♪学びあいましょう♪♪知り合いましょ  
う♪♪♪ (備中県民局・管内市町協働取組事例学習会)

協働の手法を用いた地域の課題解決と課題解決に取り組む団体間の交流を促進する  
ため、備中県民局・管内市町協働取組事例学習会「備中協働ゼミ2018 自慢し  
ましょう♪学びあいましょう♪♪知り合いましょう♪♪♪」を実施した。

備中協働ゼミでは、県民局または管内市町と協働して地域の課題解決に取り組ん  
でいる6団体による事例発表を行い、それを踏まえた意見交換を行った。

日 時	平成30年3月4日(日) 13:00~16:00
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	協働事業実施団体メンバー、市町職員、非営利活動法人役員等 22人
内 容	<p>○各団体による取組内容の発表</p> <p>※助言者：中国学園大学・中国短期大学 松畑熙一 学長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・龍の仕事展実行委員会(備中県民局) 「『龍の仕事展』を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発」</li> <li>・倉敷東学区社会福祉協議会(倉敷市) 「コミュニティ駄菓子屋事業」</li> <li>・特定非営利活動法人エブリィハート(笠岡市) 「ひきこもりの子どもたちが地域へ出ていくきっかけづくり事業」</li> <li>・総社ブラジリアンコミュニティ&amp;インターナショナルフレンズ(総社市) 「SBC&amp;IFの国際交流マイ・故郷・フェスタ・パーティー」</li> <li>・一般社団法人宇治雑穀研究会(高梁市) 「雑穀(もち麦)の栽培振興と特色をいかした特産品開発による地域活性化」</li> <li>・くにとのの御船を守る会(浅口市) 「空き家活用まちづくりPROJECT」</li> </ul> <p>○意見交換</p>
状 況	○備中協働ゼミの様子
	 

## 7 平成22年度～平成28年度における協働事業提案募集採択事業の概要

※ 事業概要については、採択時のものであり、その後の調整により変更となっている場合がある。以下同じ。

### (1) 平成28年度協働事業提案募集採択事業一覧

事業名	団体名 (事務所所在地)	事業概要
「地域で、チームで、長い目で」学童保育を核に、発達障害があっても自分らしく暮らせる備中地域づくり事業	岡山県学童保育連絡協議会 (岡山市)	発達障害児・保護者支援のための学童保育を核とした様々な機関の協力関係をつくることを目的に、参加者が語り合うセッションやモデル事業、啓発冊子作成を行う。
備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～	一般社団法人 高梁川流域学校 (倉敷市)	備中地域の伝統文化等を継承、発展させるため、「備中志塾」の開催や講座内容のテキスト化・動画制作を行う。
備中・矢掛まるごと博物館	NPO法人 備中矢掛宿の街並みをよくする会 (矢掛町)	矢掛町及び備中地域全体を博物館と見立て、神社仏閣ツアーやシンポジウム、備中神楽公演、備中菓子博覧会を実施する。
高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	一般社団法人 水辺のユニオン (倉敷市)	高梁川トレイルが風土ツーリズムとして完成するよう、ルートの開発・磨き上げ・マーケティング、オープンデータマップ制作とHP充実、ワークショップの開催、推進体制整備等を行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	「龍の仕事展」を活用し、大学生が自己啓発力・自己教育力・地域戦略を身につけられる人材育成プログラムを開発する。
将来の土木技術者を育成するための「橋守」活動サポート事業	NPO法人 TEC・ECO再生機構 (倉敷市)	橋梁の点検・維持補修を行う技術者育成のため、高校生を対象とした現場見学会の実施等を行う。
大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	輝け！江良元気会 (矢掛町)	大学留学生を地域で受け入れ、交流を通じた地域活性化を図るため、文化・生活の体験やホームステイ等による住民と留学生との交流を行う。
備中地域づくり実践講座の開催	備中田舎カレッジ連絡会議 (浅口市)	地域づくりの担い手を増やすため、地域づくりに携わりたい若手が実践事例等に学びながら、それぞれ「マイプラン」をつくりあげていく講座を実施する。
新見哲西産シシ肉の6次産業化ネットワークによる普及事業	一般社団法人 水辺のユニオン (倉敷市)	関係者がシシ肉の6次産業化に向けたネットワークを組み、シシ肉の理解促進と地域食材としての流通活性化を図るため、料理コンテスト実施や商品開発・マーケティング、イベント出展等を行う。

(2) 平成27年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
ささえ愛・助け合い・分かち合い 笑顔のびっちょうサポート事業	NPO法人大島まちづくり協議会 (笠岡市)	高齢者世帯の孤立を防ぐ体制を構築するため、シンポジウムやいきいきサロンの開催、3世代交流事業等を実施する。
きらめき生活支援協力隊事業	NPO法人NPOきらめき広場 (新見市)	住民が支え合い高齢者が安心して暮らすことのできるよう、出前健康サロンの開催や生活支援、安否確認を実施する。
高齢者パワーを地域で生かし、健康寿命延伸	にいみフォーラム (新見市)	高齢者の健康づくりや地域コミュニティーのきずな強化のため、シンポジウム開催や健康寿命の取組の普及啓発等を行う。
備中矢掛まるごと博物館	備中矢掛宿の街並みをよくする会 (矢掛町)	矢掛町及び備中地域全体を博物館と見立て、矢掛本陣を主会場としたまるごと博物館の開催や各種シンポジウム・サミットを行う。
高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	一般社団法人水辺のユニオン (倉敷市)	高梁川流域のトレイルルート開発やトレイルに関するシンポジウムの開催、オープンデータ活用のトレイルマップづくりを行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用し、インターンシッププログラムの開発等を行う。
玉島に一人でも多くのお客に来ていただく	NPO法人備中玉島観光ガイド協会 (倉敷市)	観光ガイドブック作成、SNS等による観光情報発信等により、玉島の知名度アップと観光客の増加を図る。
大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	クラブいのしし (矢掛町)	大学留学生を地区民で受け入れ、留学生との交流を通じた地域活性化を図る。
備中地域づくり実践講座の開催	備中田舎カレッジ連絡会議 (矢掛町)	地域づくりに携わりたい若手を募集し、5回の講座と最終発表プレゼンを行うプログラムを提供する。

(3) 平成26年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
さあ のはらへいこう 里山を歩こう事業	NPO法人 吉備野工房ちみち(総社市)	大人が子どもの自主性を信じた育児方法を知ることがを目的に、次の事業を行う。 ・映画上映会 ・講演会 ・里山歩き
地元の食材を使ったお料理広場による子育て応援事業	よりはぐプロジェクト(倉敷市)	地元食材を使ったお料理広場を年間13回程度開催し、それを通じて子育て支援を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会(倉敷市)	備中地域に古くから伝わる綿の植樹、写真展、種の販売等を行い、伝統を継承し、観光資源等として生かしていく。
備中・町家クラス(備中地域の歴史的建築物を活用した暮らしの体験事業)	NPO法人 倉敷町家トラスト(倉敷市)	備中に残る町並み等を活用し、町家における暮らし体験など、種々のプログラムを実施する。
備中地域における教育現場での和楽器と邦楽の普及度の実態調査	一般社団法人 倉敷未来機構(倉敷市)	備中地域の教育現場における和楽器に関する調査(和楽器の有無、和楽器を利用した活動の有無等)を行うとともに、和楽器体験モデル授業を行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会(倉敷市)	龍の仕事展を、大学生のインターンシップの場として活用するとともに、学生受け入れに関するプログラムの作成等を行う。
みなと玉島発!産業観光でつなぐ「玉島バスセンター物語」	玉島商工会議所(倉敷市)	産業観光コースを作成し、それらを巡るバスツアーを実施する。
荒廃茶園の復活再生と“地紅茶”で高粱を元気にする	百姓のわざ伝承グループ(高粱市)	廃園となった茶園を復活させ、都市と農村の交流を行うとともに、地紅茶を発信するイベントを開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会(岡山市)	自閉症及び発達障害に対する理解を深めること等を目的に、セミナー及び相談会を開催する。
発達障がい連続勉強会&情報交換会	NPO法人 ていーたいむ(倉敷市)	発達障がいの子をもつ家族を主な対象として、発達障がいについて学ぶ勉強会と情報交換会を8回程度行う。
高校生による“備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き”	「聞き書き」実行委員会(総社市)	高校生が先人から話しを聞き、それを文章に書き、フォーラムにおいて発表する。

(4) 平成25年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
こどもの安心・自信・自由を守るためのワークショップと講演	エンパワーメントMOMO	子どもがあらゆる暴力から自分を守るためのCAP(子どもへの暴力防止プログラム)ワークショップを実施する。 また、有識者による講演会の企画及び開催を行う。
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	平成25年9月に開催される「全国町並みゼミ倉敷大会」を踏まえ、その検証や実践としてバスツアーやワークショップを行い、備中地域の更なるネットワーク化や地域資源の発掘等を行う。
キビと薄荷による耕作放棄地の再利用化と低炭素化	元倉敷未来計画	備中特産として脚光を浴びてきたキビと薄荷の作付け拡大と普及の為の活動(植え付け、収穫、販売支援など)を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光が'協'協会	耕作放棄地や観光コースに備中綿を植え、インターネットなどを通じ広報をすることで観光客を誘致する。また、出前講座・発表会などの開催により、綿文化の復元、伝承を行う。
都市住民との体験交流事業	矢掛町下高末棚田保全組合	都市住民と、田植え祭り、稲刈り、野菜収穫、お飾りづくり、餅つき等を通じて、体験交流を行う。
おかやま備中暮らし支援プロジェクト	子ども未来・愛ネットワーク	岡山へ保養・避難・移住を目指す人に対し、岡山県内の生活情報等を取りまとめた冊子等の制作及び情報発信、東北等における相談会における情報提供、交流体験プログラムの実施等を行う。
児島ジーンズ伝承 ～ものづくりの歴史と技術	児島ジーンズストリート推進協議会	ジーンズづくりの歴史と技術に関わる資料・情報を集め、整理・保管・展示する「児島ジーンズアーカイブ」を作成し、それを利用した「ジーンズ塾」の企画・開催を行う。
備中高梁フィールドミュージアム事業 備中高梁の自然・歴史・文化を活用した体験型環境学習	NPO法人 フォレストフォーピープル岡山	備中高梁の自然・歴史・文化を活用し、幼・保育園児、小中学生等を対象とした各種プログラムを実施するとともに、他地域におけるフィールドミュージアム事業の取組等を紹介するシンポジウムの開催を行う。
荒廃茶園の復活と地紅茶のまち“高梁”の発信	百姓のわざ伝承グループ	荒廃茶園復活応援団を募集し、活動するとともに、地紅茶のまち“高梁”発信イベント～紅茶ウィーク～を開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	新見市内において、専門家を講師に招いたセミナーの実施及び専門家による個別の治療教育相談会の開催を行う。
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	高校生が、地域で暮らす先人(匠)と出会い、その話を「聞き」、そのまま「書き」おこし、文章にまとめる。また、研修会・発表会の実施、成果物である冊子作成等を行う。

(5) 平成24年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
育ちをサポート！お出かけ育メン育女応援団	NPO法人 保育サポート「あい・あい」	「地域の子育て支援の場」と「団塊の世代や学生等の活躍の場」をつなぐため、ニーズの把握や事前研修、スケジュール調整等を行うプロジェクトの開始及び運営
備中の伝統である綿で玉島の町を白く埋め尽くす事業(チャレンジ2)	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会	昔から玉島地区で栽培されていた「綿」の栽培等を通じ、環境客の誘致や障害者施設への作業提供、インターネットでの発信を通じて地域の活性化を図る。 ・綿の苗(6,000本)、綿の種のセット(約10粒入り、4,000セット)の配布 ・玉島地区の小学校に対する綿の栽培の出前講座の実施 ・身体障害者施設に対し綿関連の作業を発注することでの就労支援
「高粱地紅茶まつり」の開催と備中宇治茶の生産振興	百姓のわざ伝承グループ	備中宇治茶を使用した「高粱紅茶」のアピールと産地活性化を目的とした「高粱地紅茶まつり」の開催 ・日時 平成24年11月23日(金)～24日(土) ・場所 高粱市文化交流館 等 ・内容 シンポジウム、地紅茶カフェ、地紅茶列車の運行 等
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	備中地域の北部(新見)、中部(高粱)、南部(倉敷、総社、笠岡等)の伝統的景観を保つ町並みや集落を探访し、その地区で活動する団体と交流することで、町並みの保存と活性化を図る。
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」「ハッカ」の復活、活用による地域活性化を目的に各商品の生産プロセスと商品化の確立を図る。 ・耕作拡大運動と原料の供給の確保 ・キビ枕等、関連商品の開発及び農業体験の紹介等による内外への発信
地域に新たな仕事とつながりを生み出す「着地型観光プログラム×地域インターシッパ」	NPO法人 吉備野工房ちみち	今まで実施してきた着地型観光プログラム「みちくさ小道」を活用して、大学生が主体となって着地型観光プログラムを企画開発することにより、地域を担う若者の人材育成と地域資源を活用した起業支援、新事業開発支援を目的とする。

事業名	団体名	事業概要
草間台地の優れた自然環境や多様な生物をテーマとした環境学習・エコツアー	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・貴重な生物(ウスイロヒョウモンモドキ等)の勉強会、観察会等の実施
GREENDAY2012 ～企業と世代をつなぐ持続的環境教育～	GREENDAY2012実行委員会	環境保全をテーマとして、高梁川全流域で大人から子どもまでの幅広い年代を対象にした講座を開催し、人材の育成と環境に関する地域課題の解決を目的とした事業を展開する。 ＜予定している講座例＞ ・ワシ・タカ観察会(高梁市:6歳以上対象) ・神郷の森「森林間伐作業体験」(新見市:18歳以上対象)等
草間台地の特産品・ソバの栽培による耕作放棄地の解消とキノコの原木栽培による眠っている山林資源の活用	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・ソバの種まきから収穫までを都市住民とともに実施する。 ・キノコ栽培について、原木伐採から植菌までを都市住民とともに実施する。 ・採れたソバとキノコについて料理等を実施し、食文化を楽しむ。
自閉症教育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	県西部や北部での開催が少ない自閉症療育関係のセミナーについて、備中局管内で実施し、自閉症に対する理解や支援の気運が醸成され、かつ個別の相談会により日常的に抱えている困難や不安の軽減を図る。
地域ハートフル大作戦 ～ひきこもり回復支援事業～	NPO法人 エブリイハート	ひきこもりに関する啓発・広報活動を展開することで、当事者や家族を掘り起こし、地域住民の理解と支援を要請する。 ＜具体的内容＞ ・ひきこもりを題材とした映画の上映等による啓発活動 ・ひきこもり支援者の専門的研修の実施 ・ひきこもり家庭訪問及び出張相談 等
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統を継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から知恵や技術、考え方を「聞き書き」し、文章として残す事業



(6) 平成23年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
気づく つなぐ 地域で支える 心の健康 ～うつ病 私たちが出来ること ～	にいまフォーラム	うつ病を克服された著名人を招いての基調講演と医師や専門家によるパネルディスカッションを中心としたフォーラムの開催
被害者の声を聴いてください ～シンポジウムとコンサート～	(社)被害者サポートセンター おかやま	性被害者と支援員によるシンポジウムと自らが被害者であるバンド「PANSAKU」によるライブ等の開催
新見御殿町歴史探訪 ”土下座まつり拝観”と”まち歩き”そして”歴史講談”	関重爾史会	新見の「土下座まつり」の拝観とまつりの舞台となる新見御殿町の「まち歩き」に加え、新見藩やまつりの由来、丸川松隠にまつわる「講談」をプログラムとするイベントの開催
「備中玉島を綿で白くする」事業	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会	昔から玉島地区で栽培されていた「綿」を復活させ、観光客の誘致と地域の活性化を図る ・綿の「種」と「苗」の配布 ・玉島地区の小学校(11校)への栽培指導や出前講座の開催 ・備中綿鑑賞会や収穫祭、写真展の開催 等
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」と「ハッカ」の栽培を行い、市街地内耕作放棄地の解消と商品化による地域活性化を図る ・耕作拡大への活動 ・キビの枕、ハッカのカクテル等を中心にした商品化 等
GREENDAY2011 ～2011国際森林年と高梁川の持続的な環境保全活動宣言～	GREENDAY2011実行委員会	2003年から開催されてきた「GREENDAY」の活動を総括し、いままで活動を実施していない哲西町をメイン会場として、国際森林年の活動理念と連携をとったイベント等の開催 ・メイン会場:きらめき広場(新見市哲西町)でのイベント開催 ・倉敷、総社、高梁、笠岡を会場とした環境関連産業及び市民活動の人材育成を目的とした連続セミナー「GREENDAY COLLEGE」の開催

事業名	団体名	事業概要
みんなでつくる！高梁川流域のエコ指標	(財)水島地域環境再生財団	地域の自然環境の状況把握と環境意識の醸成を目的とした「エコ指標」の作成と、作成した指標を活用したシンポジウムの開催
出張型集団一時預かりサポートネットワーク形成事業	NPO法人 ふれあいサポートちやていず	イベント、講演会、講座等の会場での一時預かり事業のネットワークを形成するため、備中地域各市町において乳幼児の一時預かりのサポートのできる人材を育成する <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かりサポーター養成講座の開催</li> <li>・出張一時預かりポータルサイトの立ち上げ 等</li> </ul>
虐待防止のための連続ワークショップ事業 「わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップ～」 「スターペアレンティグ ～親と子どものよい関係を築くために～」	NPO法人 子ども劇場笠岡センター	子育てを楽しむ親を増やす機会として、県民局管内5箇所連続ワークショップを開催する <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップ～の開催</li> <li>・スターペアレンティグ～親と子どものよい関係を築くために～の開催</li> </ul>
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統や技を守り継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が、地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から、知恵や技術、考え方を「聞き書き」し文章として残す事業
CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の実施	エンパワメントMOMO	子どもたちをあらゆる暴力から守るために、アメリカで開発されたCAP(子どもへの暴力防止プログラム)を、ワークショップ、研修会形式で開催する

(7) 平成22年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
新米ママ・パパのための子育て安心講座	たんぼぼの里	子育て中のママ、パパを対象に、子育てに関する様々な知識や情報を取得するための講座を開催 (講座内容例) ・子どもの身体の発達と病気 ・子どもの栄養と食事 ・子どもの遊び 等
スクラップブックフェア2010	岡山スクラップブッククラブ	スクラップブックフェア2010の開催 ・作品展示、体験コーナーの設置 ・ワークショップの開催 ・スクラップブック用品の販売 等
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	・農家、不動産、まちづくり専門家によるPTの立ち上げ ・IT技術による耕作放棄地のDB化、耕作等の情報提供、新規営農者の居住推進 ・生ゴミを堆肥化する設備の活用によるCO2低減に寄与
”じぶんチェンジ”ツアーin備中	NPO法人 リスタート	・7月………具体的なプログラム作成、募集の開始 ・8～12月…県内5カ所(倉敷、笠岡、総社、高梁、浅口を想定)で少人数の移動型研修会を実施 ・1～2月…アンケート分析、事業報告書作成
子育てママが参加する公園遊びをつくるダンボールファクトリープログラム	遊び場を考える会	講座及びワークショップの開催 ・講座「幼児期の外遊びと冒険遊び場」の開催 ・ワークショップ「どんな遊び場？」でプランづくり ・「ダンボールファクトリー」で屋外遊び場を作る